

進化し続けるアイコン： IWCシャフハウゼンの 「ポルトギーゼ」コレクションに 魅力的な新作モデルが登場

シャフハウゼン、2020年4月25日 – IWCシャフハウゼンは、アイコン的な「ポルトギーゼ」のデザインをコンパクトにした自動巻きモデル、伝説の永久カレンダーを搭載した新作モデル、エレガントなプロポーションのケースが目を引く航海のためのスポーツ クロノグラフ、そして初めて満潮・干潮の時刻を表示する機能を備えたウォッチといった「ポルトギーゼ」の新作モデルを発表しました。コレクションのハイライトとなるこれらの新作モデルは、いずれもIWC自社製キャリバーを搭載し、「ポルトギーゼ」ならではの魅力をより一層引き立てています。

真の「タイムレス」なデザインはごくわずかしかなかった。IWCは1930年代末に、そう呼ぶにふさわしいアイコン的な「ポルトギーゼ」を誕生させました。その名の由来となった2人のポルトガル人時計商の依頼によって納入されたRef. 325のベースは、ハンタースタイルのポケットウォッチのキャリバーでした。端正でスッキリとした極めて高い機能性の文字盤にインスピレーションをもたらしたのは、当時英国海軍向けにIWCが製造していた甲板時計。当初から「ポルトギーゼ」は、航海用計器の高い精度と視認性の高さが融合した、ポケットウォッチならではのスタイリッシュな特徴を備えています。

「ポルトギーゼの驚くべき点は、文字盤が当時から全く変わっていないということです。スッキリとした機能的なデザインは、登場から80年以上たった今も変わらず新鮮で、現代的です。ポルトギーゼは、IWCをブランドとして際立たせている、時代を超越したモダンティを体現しているのです。IWCの中でも最も有名なコレクションの魅力さをさらに高めている今回の新作をご覧ください。アイコン的なデザインがどのように進化を続けているかをお解りいただけるでしょう」と、IWCシャフハウゼンのCEO、クリストフ・グランジェ・ヘアは語ります。

自社製キャリバーを搭載した コンプリートコレクション

新作ウォッチにはすべて自社製キャリバーが搭載されています。特に、キャリバーシリーズ52000及び82000の自動巻きムーブメントには、セラミック製のパーツを使用したペラトン機構が採用されています。また、キャリバーシリーズ89000及び69000のムーブメントがストップウォッチ機能の正確な計時を保証します。IWCで最も人気の高いモデルのひとつ「ポルトギーゼ・クロノグラフ」(Ref. 3716)には新たに標準でIWC自社製キャリバーが搭載され、サファイアガラスのシースルー裏蓋からご覧いただけます。また、MY IWCプログラムにウォッチを登録することで、標準的な2年保証を8年間の国際保証に延長できます。

小型になった新作モデル

「ポルトギーゼ・オートマティック 40」(Ref. 3583) は直径40mmのコンパクトなケースで、6時位置にスモールセコンドを配し、アイコンックなデザインへの回帰を見て取ることができます。新しい自動巻きモデルは、ペラトン機構を備えたIWC自社製キャリバー 82200によって駆動されます。「ポルトギーゼ・パーペチュアル・カレンダー 42」(Ref. 3442) では、キャリバーシリーズ82000の自社製ムーブメントに永久カレンダーが初めて組み込まれています。IWC自社製キャリバー82650を搭載した直径42mmのウォッチは、3つのサブダイヤルでカレンダー情報を分かりやすく表示します。

水上・陸上を問わずに活躍するマリンウォッチ

「ポルトギーゼ・ヨットクラブ」は、ノーティカルスポーツウォッチらしくタイムレスなスタイルと堅牢性、高い防水性を融合したモデルです。直径44mmの新作ではベゼルとフラットなケーシングリングに透かし細工を施し、ケースのプロポーションをとりわけ優美なものにしています。「ポルトギーゼ・ヨットクラブ・ムーン&タイド」(Ref. 344001) は、新たに開発されたタイド表示機能を搭載した初のIWCウォッチで、次の満潮と干潮の予想時刻を示します。「ポルトギーゼ・ヨットクラブ・クロノグラフ」(Ref. 3907) には、ステンレススティール製ブレスレットまたはステンレススティール&18Kレッドゴールド製バイカラーブレスレットが配されています。「ポルトギーゼ・ヨットクラブ“オールバー・ブラウン”」(Ref. 390704) は、ファッションブランドのオールバー・ブラウンとのパートナーシップにより誕生しました。

ブティックエディションと 複雑機構を備えたモデル

一部モデルには、マリンカラーにインスピレーションを得たブルーとゴールドのデザインのご用意もあり、こちらはIWCブティックでのみお買い求めいただけます。ブルーの文字盤、編み上げたブルーのカーフスキン・ストラップ、18Kレッドゴールドまたは18K Armor Gold®のケースが特徴です。改良された微細構造により、この画期的な新素材の硬度は、従来のレッドゴールド合金よりも大幅に高くなっています。また、次の2つの新作ウォッチはオート・オルロジュリーにおけるIWCの高い技術力を示しています。「ポルトギーゼ・トゥールビヨン・レトログラード・クロノグラフ」(Ref. 3940) には、トゥールビヨンにレトログラード日付表示とクロノグラフが組み合わされる一方、「ポルトギーゼ・パーペチュアル・カレンダー・トゥールビヨン」(Ref. 5045) では、文字盤上でトゥールビヨンと永久カレンダーが共存しています。

IWCシャフハウゼン

1868年、米国の時計技師であり、起業家でもあったフロレンティン・アリオスト・ジョーンズはボストンからスイスへ渡り、シャフハウゼンに「インターナショナル・ウォッチ・カンパニー」を設立しました。彼が描いた夢は、先進的なアメリカの製造方法とスイスの時計技師たちが持つ優れた職人技を組み合わせ、その時代の最高の懐中時計を作ることでした。そして彼はIWCの独創的なエンジニアリング手法の基礎を築き上げ、スイスの地で機械式時計の集中生産を確立しました。

IWCシャフハウゼンは150年にわたる歴史の中で、正確かつ頑丈で、顧客にとって使いやすいクロノグラフやカレンダーなどの機能を組み合わせた時計を生み出すことで高い名声を得てきました。またIWCは、チタンやセラミックなどの素材の先駆者であり、チタンアルミやセラタニウム®などの先進的な素材を用いたテクニカルウォッチケースの製造もおこなっています。華やかな装飾よりも「形態は機能に従う」という原則を優先するスイス時計メーカーとして、時代を超越した製品への思いは、まさに人生を旅するオーナーたちの夢と志を体現しています。

IWCは、責任を持って素材を調達し、環境への影響を最小限に抑える措置を講じながら、何世代にもわたり受け継がれる持続可能な時計を生み出しています。また、すべての従業員に快適な職場環境を提供し、誇りをもって未来を担う時計職人とエンジニアたちへのトレーニングを実施しています。さらに、IWCは子供たちと青少年への支援に向けて世界的に活動している組織とも提携しています。

ダウンロード

「ポルトギーゼ」新作モデルの画像は、press.iwc.comからダウンロードしていただけます。

お問い合わせ

IWCシャフハウゼン

広報部門

Eメール press-iwc@iwc.com

ホームページ press.iwc.com

インターネットおよびソーシャルメディア

ホームページ iwc.com/

Facebook facebook.com/IWCWatches

YouTube youtube.com/iwcwatches

Twitter twitter.com/iwc

LinkedIn linkedin.com/company/iwc-schaffhausen

Instagram instagram.com/iwcwatches

Pinterest pinterest.com/iwcwatches